

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 栃木県市貝町
本事業の担当部局名 生涯学習課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		1_1_3 出合いの機会・場の提供に関する取組					
個別事業名		市貝町とちぎ結婚支援センター登録料補助金				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度 令和5年度
総事業費(A)(円)		20,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 20,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		20,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	0	0	0	20,000		20,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	20,000		20,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本町の人口は、平成7年をピークにその後は減少傾向にある。令和6年度では出生数が26人、死亡数が146人と120人の自然減となっており、今後も死亡数が出生数を上回り、自然減で推移すると予測される。 このような現状のもと、出生率の向上には、安心して結婚、子育てができる環境、地域のサポートが必要であり、令和2年3月に策定した「市貝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、数値目標として「合計特殊出生率」を掲げ、少子化対策を行っている。 <本個別事業の位置付け> 町の若い世代が結婚や出産の希望を実現できる環境整備を目的に、県が運営する「とちぎ結婚支援センター」の利用登録料の補助を実施する。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	とちぎ結婚支援センター登録料補助金	<対象者> 下記の条件を満たすもの ①町内に住所を有すること。 ②未婚者であること。 ③とちぎ結婚支援センター(以下「センター」という。)に入会登録していること。 ④婚姻後に継続して町内に居住する意思を有すると認められること。 <補助額> 補助対象経費の2分の1に相当する額又は5,000円のいずれか低い額 補助予定件数:4件				
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 本事業についての認知不足及び、申請に関する書類作成の負担があることから申請実績がない。 今後は、広報紙やSNSで周知する並びに、申請方法等について検討していく。						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.6(R6年度)	1.22(R3年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.22(令和3年度)	
	婚姻件数		件	20(令和6年度)	
	婚姻率			1.81(令和6年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	補助金申請者数	人	4(令和8年度)	---
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100(令和8年度)	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50(令和8年度)	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50(令和8年度)	----
	④	登録者数	人	4(令和8年度)	---
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				